

小松短期大学における集中改革プランの進捗状況

平成 19 年度を「財政健全化元年」と位置づけ、平成 21 年度までの 3 ヶ年を教学改革と経営改革重点期間とする「集中改革プラン」を策定し、プランに基づく改革と改善を実行しています。平成 19 年度及び平成 20 年度で計画の 91%の進捗状況となっております。平成 21 年度で改革プランの全項目を達成すべく努めてまいります。平成 20 年度取組項目結果と平成 21 年度の計画については下記のとおりです。この結果、平成 20 年度決算で支出超過額の解消が図られ、財政健全化の第 1 歩を踏み出すことができました。

集中改革プラン取組項目

H20 年度取組項目結果（予算措置を伴うもの）

| | | | |
|----|---------------------------------|------------|---|
| 1 | 教学改革・事務事業の再編、整理、廃止、統合等について | 学生寮管理体制見直し | AM8:30～PM5:00 までは職員兼務 1,630 千円支出減 |
| 2 | 定員管理の適正化について | 職員数の是正 | 教育職員 19 人 19 人 事務職員 12 人 9 人 26,733 千円支出減 |
| 3 | 手当の総点検をはじめとする給与の適正化 | 旅費の見直し | 日当、高速料金見直し 450 千円支出減 |
| | | 入試手当の減額 | 作問手当 8 割支給 7 割支給 335 千円支出減 |
| | | 管理職手当の減額 | 7 割支給 6 割支給 620 千円支出減 |
| | | 60 歳以上給与是正 | 北陸三県の平均を参考に見直し 804 千円支出減 |
| 4 | 定員 120 人確保のための戦略（収容定員の 1.6 倍以内） | 特待生制度改正 | ハンドボール 15 人 7 人 競歩 3 人 5 人 7,340 千円支出減 |
| | | 公開講座の実施 | 361 千円支出増 |
| | | 社会人の受入 | 1 人 2 人 1,500 千円収入増 |
| 6 | 就職 100%確保戦略 | 就職支援 | キャリアカウンセラー配置 1,305 千円支出増 |
| 7 | 各ステージでの資格取得者の倍増戦略 | 資格取得強化 | 4,464 千円支出増 |
| 効果 | | | 33,282 千円減 |

H21 年度予算措置を伴うもの

| | | | |
|----|---------------------------------|------------------|--|
| 1 | 教学改革・事務事業の再編、整理、廃止、統合等について | 学務員・夜間校舎管理制度の見直し | 学務員廃止、夜間校舎管理時間短縮 366 千円支出減 |
| 2 | 定員管理の適正化について | 職員数の是正 | 教育職員 19 人 18 人 事務職員 9 人 11 人 7,440 千円支出減 |
| 4 | 定員 120 人確保のための戦略（収容定員の 1.6 倍以内） | 特待生制度改正 | ハンドボール 4 人 8 人 競歩 4 人 2 人 学業成績 5 人 12 人 1,975 千円支出増 |
| | | 公開講座等の実施 | 1,387 千円収入増 |
| | | 社会人の受入 | 2 人 1 人 1,500 千円収入減 |
| 7 | 各ステージでの資格取得者の倍増戦略 | 資格取得強化 | 1,709 千円支出減 |
| 効果 | | | 7,427 千円減 |

H20 年度未達成の項目で H21 年度に取組む事項

| | | | |
|---|---------------------------------|---------------|---|
| 4 | 定員 120 人確保のための戦略（収容定員の 1.6 倍以内） | 特待生・留学制度の見直し | 中国山東省済寧市からの留学生受入れを推進し入学者増を図る |
| | | 生産システムステージの開講 | 生産システムの 1 年コース設置 履修証明教育プログラム（ものづくり人材スキルアップ）での開講予定 開講は 5 人以上 |
| | | 退学予備軍等への対応見直し | H21 年度からステージ別履修モデルを設置し実学への資格教育の充実を図ることにより退学者数の減少を目指す |

